

改良ポイント④ - 屋根の軽量化策 -



屋根土から丸太材に加わる荷重をいかに減らすかという課題を解決する切り札として、軽石を採用することになったんだ。史跡北代遺跡第70号住居跡でも、軽石混じりの黄色粘土が屋根土に使われていたんだよ。

直径約2cmの軽石を厚さ4cmで敷いたんだ。排水力も高いんだよ。

2層目として、赤土と直径約1cmの軽石を5対5で混ぜた屋根土を厚さ5cmでたたき締めたのよ。その上に、赤土と直径約2mmの軽石を6対4で混ぜた屋根土を厚さ6cmで重ねてたたき締めたの。

軽石は水を流したり、溜めたりできるから、軽石の多用は屋根の軽量化、浸透した雨水の排水力向上、土屋根表層の保水力向上と、一石三鳥なの。

